

4年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	- 文章を読んで、感想や疑問等をノートやオクリンクプラスに書くことができる児童が多い。 - メモの取り方の学習を経て、他教科の出前授業や校外学習でも学んだことを生かそうとしている児童が多い。 - 意欲的に手紙を書く学習に取り組める児童が多い。 - 新聞作りでは、目的意識や相手意識をもって、工夫して表現している児童が多かった。	◎説明的文章では、段落同士の関係や文章構成と筆者の考えの述べ方を関連付けて理解するのが苦手な児童が多い。 - 筆者の考えに対する自分の考えをもてない児童が多い。 - 新出漢字の定着率の差が児童によって大きく、字形が整わない児童もいる。 - 理科系の学習漫画や図鑑を読む児童と小説を読む児童で読書経験に差が出てきている。 - 話す・聞くの領域、特に聞き取りの問題について苦手な児童が多い。	◎説明的文章の単元を学習する際には、筆者の考えが書かれている位置とその意図を理解できるように指導する。また、段落ごとに内容をしっかりとおさえる。 - 自分の考えをもつのが苦手な児童には、筆者と同じ立場になった時のことを想像させ、考えをまとめられるようにする。 - タブレットでの反復学習や小テストの実施で、漢字の定着を図る。 - 物語文に興味をもてるように、学校司書と連携して本の紹介をしたり、教科書「この本を読もう」に載っている本を紹介したりする。 - 読み聞かせなど、聞くことに対する指導を強化する。
社会	- 水道キャラバンや下水道出前授業に関する民間出前授業や中央防波堤への社会科見学などを通して廃棄物の処理や飲料水の供給などの生活に密着した問題について、実生活に結び付けて考える児童が多く見られる。 - 東京都を含む四十七都道府県について、それぞれの地理的特徴をタブレットや地図帳を使って積極的に調べ、まとめることができる。	◎資料を読み取り、そこから考えられる事象について正しく捉え、表現することが苦手な児童がいる。また、資料の選定について苦手意識をもつ児童が多い。 自分が調べた都道府県については、詳しく特徴など捉えられているが、その他の都道府県について知識が乏しかったり、全体の位置関係を覚えられていなかったりする児童が多い。	◎表やグラフ、資料を丁寧に読み取り、そこから分かることや必要な内容を伝え合うことで資料から情報を取り入れる活動を行う。 身近な都道府県から範囲を広げ、興味ある事柄から都道府県を関連付ける学習を行う。また、都道府県テストなどを繰り返し行う。

算数	・わり算の筆算は、おおむね理解できている児童が多いが、理解に時間が掛かる児童を支援していく必要がある。 ・新しい学習問題に意欲的に取り組んでいこうとする児童が多い。	・支援が必要な児童は、講義型授業の中だけで基礎学力を定着することは難しい。 ◎もともになる数の感の方や各単位の大きさの関係の理解が不十分な児童が多い。 ・数の相対的な大きさや数直線上に示された数や棒グラフの読み取りについて理解していない児童が一定数いる。	・個別最適化された課題（ドリルパーク）や少人数学習（カームコース）、補習教室など、幅広い手立てで全ての児童に適切な支援をしていく。 ◎各単元の文章問題の中で、単位が出てきた際に繰り返し復習したり、他の単位も合わせて確認したりする。 ・日常的に図や数直線などを積極的に活用し、問題解決の手掛かりにする。
理科	・実験や観察に対して、興味・関心をもって取り組むことができる。 ・生活経験を基に実験結果を自分なりに予想することができる。 ・実験や観察したことを正確に記録できる。	・観察、実験したことが知識として定着していない児童が一定数いる。 ◎複数の実験結果を基に考察することが苦手な児童が多い。	・授業前に前時の振り返りを行い、知識を定着させていく。 ◎実験結果の可視化、考える視点の明確化、文例の提示などの支援をする。 ・プレテストで、学習内容の確認を行う。
音楽	・音楽表現をするための技能が身に付いてきた。 ・友達と協力して試して演奏したり、友達の考えを表現に生かしたり助言したりすることができる。	◎基本的な音楽表現はできるが、さらによりよい演奏にするための発想力や思考力が広がりにくい。	・発想力や思考力がより広がるために、即興的に表現する活動を充実させ、いろいろな表現の面白さに気付かせるようにする。
図工	・新しい表現や材料などに興味をもち、最後まで意欲的に取り組んでいる。 ・友達の表現に関心をもち、よさを伝えて自分の表現に生かそうとする児童が多い。	◎自分なりの思いはもっているが、材料や用具に適した表現方法を考えることについて個人差が大きい。	・材料の特徴をじっくり味わう時間、思い付いたことや表し方を発表し合う時間を設ける。 ・観点をしばって振り返りを記述させ、共有して互いの発想のよさに気付かせる
体育	・水泳・陸上・室内のどの領域にも意欲的に取り組む姿が見られる。技の定着や精度の向上のために、試行錯誤しながら努力する姿勢が見られる。 ・集団行動に関わることで、楽しみを見出せるようになった。みんなで協力することや、友達と対話し、励ましながら学習することに価値を見出すことができるようになっていく。	◎勝ち負けにこだわるあまり、勝敗のつく場合、もめ合いになってしまうケースが多々ある。協調性とスポーツマンシップを身に着ける必要がある。 ・集中力が授業の後半や午後だと低下する傾向がある。体力向上のため、跳ぶ・走る運動を多く取り入れたい。	◎グループで見合ったり話し合ったりしながら振り返りの時間を設け、児童間で技能を向上させるようなアドバイスできる活動を積極的に取り入れる。 ・各単元の中で、基礎体力作りの時間を設ける。